

### 別表 3

#### 採択要件の優先順位付け

##### 1 基礎ポイント

成果目標の高さに応じて以下のとおりポイント付けを行うものとする。

成果目標	ポイント
流通コスト（単位収量当たりの集出荷・販売経費）を5%以上削減	当該品目の流通コストの削減について 20%以上削減・・・10ポイント
	16%以上削減・・・8ポイント
	13%以上削減・・・6ポイント
	9%以上削減・・・4ポイント
	5%以上削減・・・2ポイント

##### 2 加算ポイント

生産者の負担する流通コスト（単位収量当たりの集出荷・販売経費（卸売手数料を除く。））の削減割合に応じて、以下のとおりポイント付けを行い、基礎ポイントに加算するものとする。

成果目標	ポイント
流通コスト（単位収量当たりの集出荷・販売経費（卸売手数料を除く。））を5%以上削減	当該品目の流通コストの削減について 20%以上削減・・・5ポイント
	16%以上削減・・・4ポイント
	13%以上削減・・・3ポイント
	9%以上削減・・・2ポイント
	5%以上削減・・・1ポイント

##### 3 政策的必要性ポイント

1及び2に加え、以下について定性的に評価し、採択の順位付けの際に考慮する。

事業の趣旨に照らして、それぞれの事業において、「A：極めて高い（+1）」、「B：高い（±0）」、「C：普通（-1）」で評価する。

なお、全てC評価であった場合は、ポイント数に関わらず不採択とする。

###### (1) 緊急性

社会的・経済情勢の変化等を踏まえ、国として緊急的に支援するべき取組内容についての評価

###### (2) モデル性

先導性や取組内容の新規性、先進性等についての評価

###### (3) 波及性

広域的な波及効果、国全体としての流通の効率化に対する影響力の大きさ等についての評価